



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

上場会社名 トッパン・フォームズ株式会社
 代表者 代表取締役社長 坂田 甲一
 (コード番号 7862 東証第1部)
 問合せ先責任者 取締役財務本部長 福島 啓太郎
 (TEL 03-6253-5720)

平成 30 年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向などを踏まえ、平成 29 年4月 28 日に公表しました平成 30 年3月期(平成 29 年4月 1 日～平成 30 年3月 31 日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(平成 29 年4月 1 日～平成 30 年3月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	270,000	11,000	11,500	6,500	58.56
今回発表予想(B)	240,000	7,000	7,200	3,200	28.83
増減額(B-A)	△30,000	△4,000	△4,300	△3,300	
増減率(%)	△11.1%	△36.4%	△37.4%	△50.8%	
(ご参考)前期実績 (平成 29 年3月期)	257,734	9,474	10,065	5,876	52.94

※上記の予想は、本資料発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後のさまざまな要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

2. 修正の理由

売上高につきましては、国内のビジネスフォームやビジネスプロセスアウトソーシング、海外子会社が減収となる見通しとなったことに加え、成長を見込んでいたデータ・プリント・サービスやデジタルソリューションなどの拡大が限定的に留まる見通しとなったことなどにより、当初の予想を下回る見込みとなりました。

これらは、IT化・ネットワーク化の進行に伴う紙媒体の需要減少や、金融機関におけるマイナス金利影響の本格化、香港市場でのコンピューター関連商品の需要減少などの市場変化が、従来以上に加速していることに加え、一部得意先における大口案件が急速に縮小したことなどに起因するものですが、こうした急激な環境変化への対応は、当社グループの喫緊の課題であると認識しております。

営業利益につきましては、製造拠点の統廃合や自動化による生産効率の改善など、さまざまな側面から製造コストの削減に取り組んでおりますが、前述の売上高減少に伴う利益減や、労働市場の需給逼迫を背景とした人件費の上昇などのコストアップ要因の影響により、当初の予想を下回る見込みとなりました。それに加え、事業再編に伴う一時費用の計上などもあり、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も下回る見込みとなりました。

こうした状況を踏まえ、当社グループにおいては中長期的な成長を実現していくために、ITを活用した高付加価値で収益性の高い新サービス・新事業の展開や、競争力強化のための事業投資を加速させるとともに、製造拠点の集約やグループ会社の再編、働き方改革を含めた構造改革を推し進め、企業価値のさらなる向上を図ってまいります。

なお平成 30 年3月期の配当予想について変更はありません。

以上